

式 辞

校門から校舎に向かって、お花美化プロジェクトとして、昨年の秋に、2・3年生の生徒の皆さんと地域の皆さんが協力して植えたチューリップが、新入生の皆さんを祝うように、満開に咲いています。まさに春の到来に躍動感を感じる季節です。

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。先生方からの呼名にきちんと返事をし、起立をした姿は、貫井中学校の生徒の最初の行動として、立派でした。標準服の着心地はどうですか。これまでの自由な服とは違い、照れくさい気持ちとちょっと大人に近づいたような緊張感があるのではないかと思います。今日から、義務教育最後の中学校生活が始まりました。今の喜びや決意を忘れることなく持ち続け、3年後に、充実感や達成感をもって卒業することを願っています。

私からは、貫井中学校の生徒になった皆さんに、中学校生活で大切にしてほしいことをお話しします。それは、「主体性をもって行動する」ということです。皆さんが今、この座席につくまでの間の会場の準備、受付や入場の案内、歓迎の演奏などのすべてを行っていたのは、後ろであなた方を見守ってくれている2・3年の先輩たちです。中学校は、生徒が中心になって多くの活動を進めています。運動会や合唱コンクールなどの学校行事をはじめ、イングリッシュキャンプや校外学習などの学年行事、生徒会、部活動と、クラスや学年を越えた学校全体で、そして生徒同士で自主的に自発的に運営します。その、自主的・自発的に進める時に必要なのが、主体性です。

主体性とは、自分の意志、自分の判断によって、責任をもって行動する態度や、性質のことをいいます。

一方で、この主体性は、学校行事や学年行事などの特別活動にだけに、発揮するものではありません。授業、学習にとっても重要な力です。小中一貫連携授業や、体験入学では、いろいろな先生から、勉強を教えてもらいましたね。中学校は、学習内容が増え、スピードも上がるので、心配な人もいるでしょう。しかし「自分から進んで学習する」を実行することで、その心配は期待に変わります。では、「主体性を持って行動する」ことを身に付けるための初めの一步として、すぐにできることはどのようなことでしょうか。それは、「考えること」です。貫井中学校では、自分の考えをもとに、他の人と伝えあい、さらに自分の考えを深める活動を重視しています。その時の自分の考えは、思いつきではなく事実などの根拠に基づいていることが大切です。

今、世界は激変する毎日で、私たちの身の回りで起こることは、正解が一つとは限りません。学習も同様です。「どうして」という疑問をもち、どのようにしたら答えを導き出せるのか、また、情報を正しく見極めて、行動につなげていくこと、そして、知ったことは仲間と伝えあい、支えあい、学びを深めてほしいと思います。

中学校3年間にはあっという間ですが、この間の成長は、体も心も著しいです。将来への夢や目標をもち、主体的に行動することで、やがては自分の実力になります。皆さんの輝く、貴重な中学生生活を、貫井中学校の先生方、先輩方は、全力でサポートしますので、一緒に磨きあっていきましょう。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。お子様がこれからの3年間の中学校生活を通して、心豊かな思いやりのある生徒に成長されることを強く願っております。時にはお子様のことで、悩むこともあると思います。その際は、小さなことでも担任、学年はもとより、本校の職員に気軽にご相談ください。

最後になりましたが、本日ご列席の練馬区議会議員の方々をはじめ、地域の皆様には、今後も子供たちの健全育成に向け、ご支援、ご指導を賜りますよう、お願いを申し上げ、校長式辞といたします。

令和7年4月8日

練馬区立貫井中学校長 佐藤明子